

～豊かな森を、未来を、こどもたちへ～

赤城自然園の運営を通じた社会への取り組み



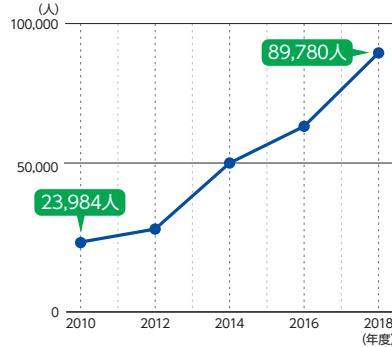
赤城自然園これまでの歩み

赤城自然園は、赤城山西麓の標高600～700mに位置し、花々が咲き誇る春、生命力にあふれる夏、木々が実り色づく秋、野鳥の音が響き渡る冬と、日本の豊かな四季を織りなす美しい自然を感じることができる森です。当社は、「次世代を担うこどもたちに豊かな自然を引き継ぐ」ため、社会貢献活動のひとつと

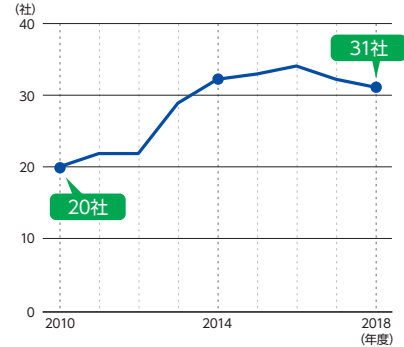
して赤城自然園を2010年より運営しています。カード会員には、入園料のご優待サービスを行っています。赤城自然園のフィールドを活用し、地域と連携した環境保全活動をはじめ、次世代支援につながる取り組み、観光活性を通じた地域貢献など、多様な活動を行っています。

数字でみる赤城自然園

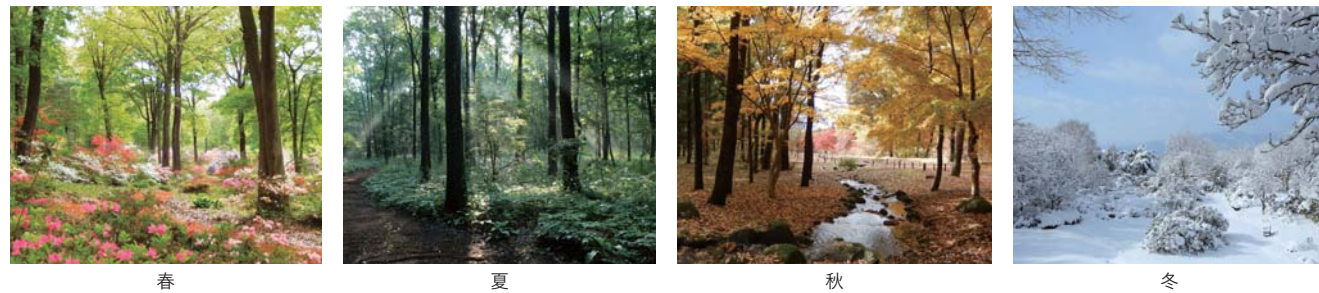
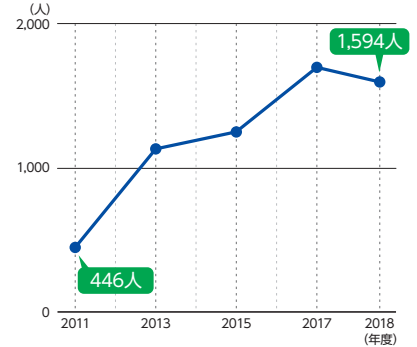
■ 来園者数 (2010～2018年度)



■ 協賛企業様数 (2010～2018年度)



■ 個人サポーター数 (2011～2018年度)



環境保全への取り組み

■ 豊かな自然を引き継ぐための活動

「花を育てるのではなく、環境を整えることで植物が育つ手助けをする」という方針のもと、元はマツやスギの雑木林を、種類豊富な樹木や花々が育ち、豊かな日本の四季に触れることができる森に再生し、生態系の維持・継続を目指して整備をしています。



■ アサギマダラの移動調査

1,000km以上も旅をする渡り蝶「アサギマダラ」が赤城自然園には毎年数千頭も飛来します。飛来時期にはその移動調査のためのマーキング調査をしています。2015年には約2,000km離れた沖縄県与那国島で再捕獲されました。



次世代への取り組み

「こどもたちに豊かな森を引き継ぎ、自然の中で感性を育んでほしい」という理念のもと、四季折々のプログラムやツアーを行っています。2018年度のこどもの来園者人数は4,593人(前年比31%増)となりました。

■ こどもプログラム



森のファミリー写真大会 親子de写真教室 林業体験



炭焼き職人体験 自然観察会 親子deヨガ 子どもフォトコンテスト

■ 福島県主催健康増進を目的とした親子バスツアー



■ 筑波大学附属聴覚特別支援学校へ授業課題の提供



地域活性への取り組み

群馬県内外からの来園者の増加による地域活性や、市民の健康増進など幅広い分野で貢献しています。

■ 2019年4月には、渋川市と連携協力に関する協定を締結

地域社会への貢献と、赤城自然園の認知拡大、サービス・イベント拡充などの基盤強化を目指し、連携を強化しています。

取り組み事例

- 環境課/親子の環境学習会 ●赤城公民館/自然観察会 ●しぶかわスポーツクラブ/ノルディックウォーキング、ウォーキング教室 ●交通政策課/バスの乗り方教室 ●介護保険課/介護予防サポーター代表者研修 ●こども課/婚活イベント ●こども課/子育て中の親子の交流・健康増進 など



渋川市役所にて渋川市長 高木勉氏(左) 当社常務取締役 水野克己(右)

福祉への取り組み

森林セラピー基地を活用し、すべての人が健康的な生活を送れるための一助となるよう、プログラムの開催など行っています。

■ 森林セラピー基地に認定

森を楽しむことで、心身の快適性を向上させ、保養効果を高めしていくことで、リラクゼーション効果や免疫機能改善などが期待できます。赤城自然園は、生理・心理実験により癒し効果を実証され、森林セラピーサエティにより「森林セラピー基地」に認定されています。



■ プログラム

森deノルディックウォーキング、森deヨガ、健康保険組合連合会のウォーキング大会、呼吸法 など

